

SBL 研修旅行

By 八木

まろい地球の歩き方

日本M&Aセンター マドリード国際会議
2024年3月17日(日)～21日(木)

「マドリード国際会議」に出席しました。

スペインは、ちょうど地球の反対側に位置しています。日本では、フランシスコ・ザビエルや闘牛、フラメンコ、ピカソ、パエリア、サッカー、サグラダ・ファミリア等で有名です。会議では、冒頭で日本人と親和性の高いスペインの政治や経済について、講演がありました。

あとスペシャルゲストとして、元サッカー日本代表の大久保嘉人氏が登壇されました。J1リーグ3年連続得点王、J1リーグ最多得点記録191ゴールなどの記録を残しておられ、スペインリーグのRCDマヨルカでも活躍されました。

体格に恵まれているわけではない大久保氏ですが、それを補うメンタリティをお持ちです。試合に出場するために、スペイン人と積極的に交流し、機会を逃さず、情熱を貫く姿勢が結果に結びついたのであると思います。

全国162の会計事務所が参加しました。会計事務所業界の将来や、M&Aの取り組み事例などについて講演があり、情報交換をしました。



会議後の懇親会で情報交換

日本とスペインで活躍した、元プロサッカー選手、大久保嘉人氏



レアルマドリードの本拠地、サンチャゴ・ベルナベウ球場は改修中でしたが、多くのファンがショップや球場ツアーに詰めかけていました。



マドリードの移動は地下鉄が便利。路線は番号で表されていて、どの駅で乗り換えすればよいか一目瞭然。

スペイン流の働き方

スペイン流の働き方は、朝10時に出社して、朝ご飯を職場で食べて勤務を始め、15時からの長めのランチやシiestaをはさみ、20時ごろ退社。その後は朝方までバルで夜通し遊ぶスタイルだそうです。

また、夏の暑い時期には2ヶ月にも及ぶバカンスに家族そろって出かけます。マドリードの街はお店も閉まっていて閑散としているそうです。モーレツに働くことが求められている、長期休暇の取りにくい日本とは対極にあるのかもしれませんが。

シiestaの文化があり、陽気なラテンの国柄であるため、働くことが苦手というイメージがありますが、労働意識は日本人のそれと変わりません。



たまたま入ったバルでは、レアルマドリードの有名選手のユニフォームとサインが飾ってありました。



パエリアは、日本で食べるものと違って、フライパンにうすく炒めてありました。使用しているお米がスペイン産で、大粒で粘り気が少なく、スープをたっぷり吸収しています。

街で見かけた、日本式の学習塾。スペインでは引き算ではなく足し算を使ってお釣りの計算をするそう。